OLYMPUS

SUPERZOOM 70G

JP 使用説明書

・ご使用前にこの使用説明書をお読みください。
・大切な写真（海外旅行など）をお撮りになる前には、試し撮りすることをおすすめします。

OLYMPUS
オリンパス株式会社
〒163-0914　東京都新宿区西新宿2丁目3番1号　新宿モノリス

製品に関するお問い合わせ先
フリーダイヤル　0120－084215
携帯電話・PHSからは　0426－42－7499
FAXからは　0426-42-7486
◎オリンパスカスタマーサポートセンター◎
営業時間　平　日　9：30～21：00
土・日・祝日　10：00～18：00
（年末年始、システムメンテナンス日を除く）

修理に関するお問い合わせ、修理品ご送付先
〈TEL〉　0266－26－0330
〈FAX〉　0266－26－2011
〒394-0083　長野県岡谷市長地柴宮3-15-1
オリンパス岡谷修理センター
営業時間　9：00～17：00
（土・日・祝日及び弊社休日を除く）

CS0861000000–④　A 0803

1. 安全に正しくお使いいただくために

このたびは、SUPER ZOOM 70Gをお買い上げいただき、ありがとうございます。
・ご使用前にこの使用説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。またお読みになった後は、いつでも見られるように必ずお手元に保管してください。
・この製品は写真撮影のためのものです。撮影以外の目的に使用しないでください。
・安全に関する重要事項は、以下の表示と文章で示されます。あなたと他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、必ず守ってください。
・表示の意味は、次のようになっています。

表示	意味
⚠警告	この表示は、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠注意	この表示は、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。
⃠	この記号は、禁止（してはいけないこと）を示します。 図または文章で具体的な禁止内容を示します。
❗	この記号、または絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容を表しています。 ❗の中の絵表示や文章で具体的な強制内容を示します。

1. 電池について

⚠警告
⃠ この製品で指定されていない電池を使わないでください。
⃠ 充電できないアルカリ電池、リチウム電池などを充電しないでください。
⃠ 火の中への投入、加熱、⊕と⊖極間のショート、分解をしないでください。
⃠ 電池の極性（⊕と⊖）を逆に入れないでください。
電池が、液もれ・発熱・発火・破裂する恐れがあります。

⚠警告
⃠ 電池は幼児・子供の手の届くところに置かないでください。
電池は幼児・子供が飲み込む恐れがあります。
万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。
・表面の被覆の破れた電池を使わないでください。
・長期間使用しない時は、必ず電池を取り出して保管してください。
・一般廃棄物として各自治体の指示に従って処理してください。

2. 本機について

⚠警告 ❗ 万一、使用中に変な音、熱い、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら、
①火傷に注意しながら速やかに電池を抜いてください。
②お買い上げ店またはオリンパス岡谷修理センターへ修理に出してください。
放置すると火災や火傷の原因となります。

⚠警告 ❗ 落下や損傷により内部が露出したら
①露出した内部に絶対触れないでください。
②感電、火傷、ケガに注意し、直ちに電池を抜いてください。
③お買い上げ店またはオリンパス岡谷修理センターへ修理に出してください。
内部高電圧回路による感電、ケガ、火傷の恐れがあります。

⚠警告 ⃠ 分解、修理、改造をしないでください。
内部高電圧回路による感電やケガの恐れがあります。

⚠警告 ❗ 水に落としたり、内部に水、金属、燃えやすい異物が入ったら、
①速やかに電池を抜いてください。
②お買い上げ店またはオリンパス岡谷修理センターへ修理に出してください。
そのまま使用すると火災や感電の危険があります。

⚠警告 ⃠ 製品を濡らさないでください。また濡れた手で触れないでください。
感電の原因となります。

⚠警告 ⃠ 引火性ガスや物質（ガソリン、ベンジン、シンナー等）の近くで使用しないでください。
爆発や火災、火傷の原因となります。

⚠警告 ⃠ ファインダーを通して太陽や強い光源を見ないでください。
失明の恐れがあります。

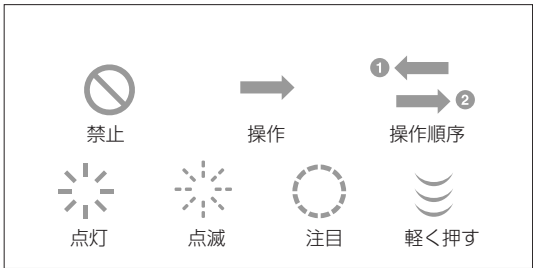
3. フラッシュ・その他

⚠警告 ⃠ フラッシュ発光部に皮膚や物を密着させて発光しないでください。
またフラッシュ連続発光後、フラッシュ部分に触れないでください。
熱くなる場合があります。

⚠注意 ⃠ フラッシュ光により短時間視界が妨げられることがあります。
たとえば、下記の様なことはしないでください。
例①フラッシュを人や動物の目の前で発光
②フラッシュを運転者に向けて発光
・本機は暗い時には自動的にフラッシュが発光しますのでご注意ください。

⚠警告 ⃠ この製品を幼児、子供の手の届く範囲に放置しないでください。
また幼児、子供の近くで使用する時は、細心の注意を払い、不用意に製品から離れないでください。幼児、子供には安全警告・注意の内容が理解できませんし、
加えて以下の様な事故の恐れがあります。
例①誤ってストラップを首に巻き付け、窒息を起こす。
②操作を誤りケガや感電事故等を起こす。

⚠注意 ⃠ カメラを操作しながら、他のことをしないでください。
例：車両の運転、ファインダーを覗きながらの移動など

この使用説明書には以下のような記号が使われています。

・説明文中の ▭ 内の注意事項には、特に気を付けてお読みください。
・本文中のイラストは、実際の製品と異なる場合があります。

2. ストラップの使い方

ストラップ調節具
突起部で途中巻き戻しボタンや、日付操作ボタンを軽く押してください。他のもので押すと故障の原因となります。

3. 各部の名称

☆部は汚さないようにご注意ください。（☆部の汚れはピンボケや不鮮明な写真の原因になります。やわらかい布でよくふき取ってください。）

4. ファインダー／液晶パネルの表示

＊説明のために、全ての表示を点灯させた状態です。
・約10分間なにもしないと表示は消灯し、自動的にOFF状態になります。その時レンズは収納されます。再表示させるにはレンズバリアを一度閉めて再度開いてください。
・フィルムコマ数位置に E マークが点滅している時は、フィルムが入っていないかフィルムがうまく装填されていない場合です。

5. 電池を入れ、チェックします

電池に関するご注意をお読みください。

1. ❶電池ぶたの下側を押しながら、❷まわして開けます。

電池を入れる時はレンズバリアを閉じた状態で行ってください。

2. 電池の向きを正しく合わせて入れ、電池ぶたを閉めます。

3Vリチウム電池(CR123AまたはDL123A)1本をご使用ください。
フィルム約15本分の撮影ができます。

3. レンズバリアをカチッと音がするまで開いて電池残量をチェックします。

長期の旅行、結婚式や、寒冷地での撮影には予備の電池をご用意ください。電池を換えた後は日付・時刻を合わせてください。

電池残量表示の状態	意　味
が点灯。（自動的に消えます。）	電池の容量は十分です。撮影できます。
が点滅し、液晶パネルの他の表示は通常通り点灯。	電池の容量が少なくなりました。新しい電池と交換してください。
が点滅し、液晶パネルの他の表示は消灯。	電池の容量がなくなりました。新しい電池と交換してください。

6. カメラに慣れましょう

1.カメラの構え方

・両手でしっかりカメラを持ち、脇をしっかりしめます。
・たて位置の時は、フラッシュが上になるようにします。影が自然な方向に出ます。

2.シャッターボタンの押し方　フィルムを入れる前に練習しましょう。

1. 軽く押すと…(半押し)

ピントと露出が固定されます。
（確認）ファインダー横の緑ランプが点灯します。

2. さらに押し込むと…(押し切り)

シャッターが切れます。
緑ランプが点滅している時は、シャッターが切れません。

・レンズ、AE測光部、AF測距部、フラッシュに指やストラップがかからないようにご注意ください。
・シャッターボタンは静かに押してください。
・シャッターボタンを押す時にカメラがぶれると写真がボケる原因となります。

7. フィルムを入れます

1. 裏ぶた開放ノブを押し上げ裏ぶたを開けます。

レンズ等カメラ内部に触れないように注意してください。レンズにゴミがついていたら、ブロアーブラシ等で取り除いてください。

2. フィルムを入れ、浮かないようにカチッと音がするまで押さえます。

ISO100、200、400、800のネガフィルムをお使いください。リバーサルフィルムはご使用できません。
DXコード付フィルム以外を使う場合はISO100のフィルムをご使用ください。

良い例

良い例のようにフィルムの出口を軽く押さえてフィルムをセットし、裏ぶたの右端を押して確実に閉めてください。悪い例のようにフィルムの出口が浮いていると、うまく巻き上がらないことがあります。

悪い例

悪い例

3. フィルムの先端を◌印の［← FILM TIP］の矢印の先まで出した状態で裏ぶたを閉じます。

自動的にフィルムが1コマ目まで巻き上がります。
フィルムガイドAの間にフィルムが正しく位置していることを確認して裏ぶたを閉じてください。

4. レンズバリアをカチッと音がするまで開きます。

（確認）液晶パネルのコマ数表示が 1 になります。
E が点滅している時はフィルムが正しく巻かれていません。もう一度フィルムを入れ直してください。

8. 写します

1. レンズバリアがカチッと音がするまで開きます。

（確認）レンズが繰り出されて、液晶表示が点灯します。

2. ファインダーをのぞき、ズームレバーを操作して構図をきめます。

ズームレバーの使い方

T側へ引きます。望遠側(TELE)は70mmまで

W側へ押します。広角側(WIDE)は38mmまで

3. 撮りたいものにオートフォーカスマークを合わせます。

オートフォーカスマーク

⚠ ⃠ レンズやファインダーを通して太陽や強い光源を見ないでください。失明の恐れがあります。

4. シャッターボタンを軽く押してピントを合わせます。

（確認）撮りたいものにピントが合い緑ランプが点灯します。この時、露出も自動的に測定されます。
緑ランプが点滅したときはフラッシュ充電中か、撮影距離が近すぎるためシャッターが切れません。
（8.5. 撮影距離、13. オート発光モード参照）

5. そのままシャッターボタンを押し切ると撮影できます。

自動的にフィルムが巻き上がり、フィルムコマ数表示が1コマ進みます。

撮影距離

撮影は0.8m（ISO 800ネガカラーフィルム使用時は1m）～∞（無限遠）の範囲で行ってください。

・0.8m（ISO 800ネガカラーフィルム使用時は1m）より近い距離ではシャッターは切れません。（緑ランプが点滅します。）ただし極端に近い距離では緑ランプが点灯しシャッターが切れますが、ピントは合いません。
・ピントはオートフォーカス（AF）により自動的に合いますが、条件によりAFの苦手な被写体もあります。（22. Q&A参照）

近距離補正

0.8m（望遠側）の時の撮影範囲

撮影範囲フレームは∞（無限遠）時に写る範囲ですが、撮りたいものまでの距離が近づくにつれて写る範囲が下に移動します。0.8mの時は近距離補正マーク内が実際に写る範囲となります。

9. フォーカスロックのしかた　ピンボケ写真を撮らないために

ピントを合わせたいものがオートフォーカスマークから外れる場合に使います。

1. 写したいものにオートフォーカスマークを合わせ、シャッターボタンを軽く(半押し)押します。

2. シャッターボタンを軽く押したまま写したい構図に変え、押し切ります。

・シャッターボタンを軽く押すと緑ランプが点灯します。
・この時、露出もロックされます。シャッターボタンから指を離すとフォーカスロックは解除されます。

10. 撮影が終わったら

レンズバリアを軽く閉じると液晶パネル表示が消え、自動的にレンズが収納されます。レンズが収納された後、レンズバリアを完全に閉めます。

レンズ収納中レンズバリアを押し当てないようにしてください。故障の原因となります。

11. フィルムを取り出します

最終コマ撮影が終わると自動的に巻き戻しを開始します。

作動音が止まりEの点滅表示になってから裏ぶたを開けてフィルムを取り出してください。

巻き戻し中はフィルムコマ数が減っていきます。

フィルム規定枚数より多く撮れて終わることがありますが、最後に撮影したコマがプリントされないことがあります。

途中巻き戻し

途中で巻き戻す時はストラップ調節具の突起部で途中巻き戻しボタンを軽く押してください。他のもので押さないでください。故障の原因となります。(2. ストラップの使い方参照)

12. フラッシュ撮影のしかた

このカメラには6つのフラッシュモードがあります。撮影状況・目的に合わせてお使いください。

モードの切り換え方

レンズバリアを開きフラッシュモードボタンを押すごとに、右の順に切り換わります。フラッシュモードは液晶パネルに表示されます。

表示	モード	機能・用途
表示なし	オート発光	暗い時、自動的に発光します。
◉	赤目軽減発光	目が赤く写ってしまう現象を軽減します。
(発光停止マーク)	発光停止	フラッシュを発光させたくない時に。
ϟ	強制発光	必ず発光させたい時に。
(夜景マーク)	夜景	夜景をバックに人物を撮る時に。
(夜景マーク)◉	赤目軽減夜景	夜景時の赤目を軽減したい時に。

⚠注意　人や動物の目に近づけてフラッシュを発光させないでください。一時的に視力に影響を与える恐れがあります。

13. オート発光モード

暗い時にフラッシュが自動的に発光します。

確認　シャッターボタンを軽く押した時、緑ランプが点灯していれば撮影できます。

フラッシュ撮影可能範囲
(ネガカラーフィルム使用時)

ISO	W(広角)	T(望遠)
100	0.8m〜3.1m	0.8m〜1.7m
200	0.8m〜4.4m	0.8m〜2.4m
400	0.8m〜6.2m	0.8m〜3.4m
800	1m〜8.8m	1m〜4.8m

・リバーサルフィルムはご使用できません。

・緑ランプが点滅している時は、フラッシュ充電中のためシャッターが切れません。一旦シャッターボタンから指を離し、数秒待ってから撮影してください。

14. ◉ 赤目軽減発光モード

目が赤く写る現象を軽減します。
本発光の前に赤目軽減ランプの点灯を行ない、目が赤く写ってしまう現象を起こりにくくします。
ランプ点灯をする以外はオート発光と同じです。

・シャッターが切れるまで約1秒かかりますので、カメラをしっかり構えてください。
・以下の場合は、赤目軽減の効果が現われにくくなります。
　1.カメラを正面から見ていない場合
　2.赤目軽減ランプ点灯を見ていない場合
　3.被写体までの距離が遠い場合
　また個人差によっても赤目軽減の効果が異なります。

・レンズバリアを閉めても赤目軽減発光モードは保持されます。

15. 発光停止モード

暗いところでも発光させたくない時に使います。
このモードでは暗くてもフラッシュは光りません。フラッシュを使えない美術館や夕景、夜景等を撮影する時に使います。

シャッタースピードが最長2秒まで延長されますのでカメラぶれを防ぐため三脚をご使用ください。動く被写体はぶれて写ります。写される人には動かないようにご注意ください。

・レンズバリアを閉めるとオート発光モードに戻ります。

16. ϟ 強制発光モード

必ず発光させたい時に使います。
強制発光モードはフラッシュを常に発光させるモードです。木かげ等で顔にかかった影をやわらげたい時や、逆光、蛍光灯等の人工照明下での撮影の時等に使います。

フラッシュ撮影可能範囲内で撮影してください。非常に明るい場所では効果があらわれにくくなります。

・レンズバリアを閉めるとオート発光モードに戻ります。

17. 夜景モード

夜景をバックに人物を撮る場合に背景を黒くつぶさずに人物も夜景も鮮やかに写せます。

シャッタースピードが最長2秒まで延長されますのでカメラぶれを防ぐため三脚をご使用ください。動く被写体はぶれて写ります。写される人には動かないようにご注意ください。

三脚などでカメラを固定してください。

・レンズバリアを閉めるとオート発光モードに戻ります。

18. 赤目軽減夜景モード

夜景をバックに人物を撮る場合に、目が赤く写る現象を軽減します。
本発光の前にランプ点灯を行ない、目が赤く写ってしまう現象を起こりにくくします。
ランプ点灯をする以外は夜景モードと同じです。

赤目軽減発光モードと夜景モードの[ ]内の注意事項をご参照ください。

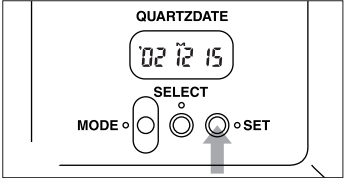
・レンズバリアを閉めると赤目軽減発光モードに戻ります。

19. 日付・時分の合わせかた

1. MODEボタンを押して修正する年月日または時分を選びます。

2. SELECTボタンを押して修正したい表示を点滅させます。

SELECTボタンを押すたびに点滅箇所は年・月・日または時・分と変わり、もう一度SELECTボタンを押すと写し込み確認マークが出るまで押してください。写し込み確認マークが出ると修正が完了します。

3. SETボタンを押して修正します。1・2〜3を繰り返し時分まで合わせます。

1回押すと1進み、押し続けると早送りができます。行きすぎた時はそのまま押し続けると戻ります。時間を正確に合わせる時はSELECTボタンで : を点滅表示させ、時報に合わせてSETボタンを押すと秒時は0秒になります。

20. 日付(クォーツデート)操作ボタンの使い方

写し込みには右図のように5つの組合せがあります。
MODEボタンを押して写し込みたいモードに切り換えます。

MODE ボタン：
日付・時刻の切り換えをします。
SELECTボタン：
修正位置を選びます。
SET ボタン：
数字を合わせます。

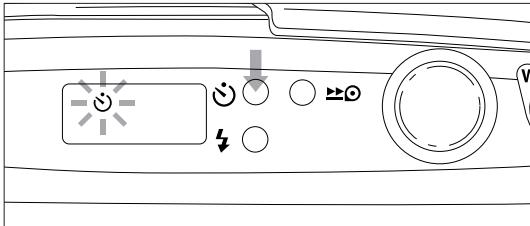
SELECT・SETボタンを押す時は、ストラップ調節具の突起部で軽く押してください。他のもので押さないでください。故障の原因となります。(2. ストラップの使い方参照)

MODEボタンを押すたびに表示が変わります。

表示	内容
'02 6 24	年　月　日
24 15:59	日　時　分
- - - - - -	写し込みなし
6 24 '02	月　日　年
24 6 '02	日　月　年

電源はカメラ本体の電池と共用です。カメラ本体の電池交換時には、必ず日付・時刻を確認、修正してください。
日付は画面の下、右側に写し込まれます。写し込まれる部分に白やオレンジがかった色の被写体がある時、日付が読み取りにくくなることがあります。

21. セルフタイマー

1. レンズバリアを開きセルフタイマーボタンを押し、液晶パネルにセルフタイマーマークを表示させます。

確認　三脚等にしっかり固定してください。
・カメラの前に立ってシャッターボタンを押さないでください。正しいピント・露出が得られません。
・撮影後、セルフタイマーモードは解除されます。
・作動中のセルフタイマーを途中で中止したい時や、セルフタイマーモードを解除する時は、セルフタイマーボタンを再度押してください。

2. 撮りたいものにカメラを向け、シャッターボタンを押します。

約12秒後にシャッターが切れます。

22. Q&A

Q：カメラ本体の電池はどの位もちますか。
A：リチウム電池(CR123A)で約15本(24枚撮り、フラッシュ使用率50%その他当社試験条件による)の撮影ができます。フラッシュおよびズーム使用頻度が少ない場合は、さらに長持ちします。

Q：カメラの保管はどうすれば良いのですか。
A：カメラはホコリ、湿気、塩分を嫌います。よく拭いて乾燥させて、保管してください。海辺で使った後は、真水に浸した布を固く絞って拭き取ると良いでしょう。防虫剤の使用は避けてください。

Q：露出・ピントはいつ測定されるのですか。
A：シャッターボタンを半押しした時に測定され、半押ししている間固定されます。

Q：フラッシュが熱くなるのですが。
A：連続してフラッシュ撮影するとフラッシュ部が熱くなることがありますので少し休ませてからご使用ください。

Q：レンズが収納され操作を受けつけなくなってしまった。
A：約10分間何も操作しないと自動的にOFF状態になります。レンズバリアを一度閉めて再度開くと、ON状態となります。

Q：オートフォーカスの苦手な被写体とはどんなものですか。
A：次のようなピントの合いにくい被写体です。
　・光沢のあるもの・黒いもの・ガラスや金網越しの場合・炎・太陽が画面にある時。

23. 取り扱い上のご注意

直射日光下の車の中や夏の海岸等、高温多湿の場所にカメラを放置しないでください。

戸棚や引き出しに使われているホルマリンや防虫剤のナフタリンから離して保管してください。

水気がついたらすぐに乾いた布で水分を拭き取りましょう。特に塩分は禁物です。

カメラを清掃する時アルコールやシンナー等、有機溶剤を使用しないでください。

テレビ・冷蔵庫等の電気製品の上や近くに置かないでください。

泥や砂をかぶらないようご注意ください。修理不可能になることがあります。

強い振動やショックを与えないでください。

ズームレンズに縦・横方向の無理な力を加えないでください。

●風通しのよいところに置いてください。湿気の多い時期にはビニール袋等に乾燥剤と一緒に入れておくと安全です。

●使用可能温度は−10℃〜+40℃ですが、低温では電池性能の劣化によりカメラが作動しないことがあります。

●寒い戸外から熱い室内に入る等、急激に温度が変わった時は、カメラを室内の温度になじませてからご使用ください。

●カメラ前面のAF測距部・AE測光部・レンズ・フラッシュ発光部等を髪や手でふさがないでください。

●長時間使用しないと、カビがはえたり、故障の原因になることがあります。時々シャッターを切るようにし、また使用前には作動点検されることをおすすめします。

●飛行機をご利用される時は、フィルムの感度にかかわらず未現像フィルムやフィルムの入ったカメラは、機内にお持ち込みください。預け入れ荷物に入れた場合、X線検査で感光してしまうことがあります。また、手荷物検査の際にもフィルムが入っている場合は、検査官に伝えてX線の照射を避けてください。

●このカメラはマイクロ・コンピューターによって制御されています。マイクロ・コンピューターの特性としてきわめてまれにカメラが作動しなくなります。万一このような状態になった時は、電池をいったん取り出し、入れ直してカメラを作動させてください。また極端な高電界下では電子回路が動かなくなることがあります。このような時は影響がなくなるまで離れてお使いください。

●業務用または過酷な条件での使用はおすすめできません。

24. 電池に関するご注意

⚠警告　電池は正しく使いましょう。誤った使い方は液もれ・発熱・破損の原因となります。交換する時は、指定の電池を ⊕⊖ の向きに注意して正しく入れてください。

⚠警告　電池をショートさせたり、分解や充電をしたり、火の中に入れると破裂・発火の恐れがあります。

⚠警告　電池は幼児の手の届かないところに置いてください。また、万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。

●電池は、一般に低温になるにしたがって一時的に性能が低下します。寒冷地で使用する時は、カメラを防寒具や衣服の内側に入れる等して保温しながら使用してください。なお、低温のために性能の低下した電池は、常温に戻ると回復します。
●電池の ⊕⊖ 極が汗や油で汚れていると、接触不良をおこす原因になります。乾いた布で良くふいてから使用してください。
●長期間の旅行等には、予備の新しい電池を用意することをおすすめします。特に海外では地域によって入手困難なことがあります。
●電池に記載されている注意事項を守ってください。
●ご使用済みの電池は一般廃棄物として、各自治体の指示にしたがって処理してください。

25. アフターサービスについて

・保証書はお買い上げの販売店からお渡しいたしますので「販売店名・お買い上げ日」等の記入されたものをお受け取りください。もし記入もれがあった場合は、直ちにお買い上げの販売店へお申し出ください。また保証内容をよくお読みの上大切に保管してください。
・本製品に関するお問い合わせや、万一故障の場合はお買い上げの販売店、またはオリンパス岡谷修理センターにご相談ください。
・使用説明書等にしたがったお取り扱いにより、本製品が万一故障した場合は、お買い上げ日より満一ヶ年間「保証書」記載内容に基づいて無料修理いたします。
・保証期間経過後の修理等については原則として有料となります。また運賃諸掛かりはお客さまにおいてご負担願います。
・当カメラの補修用性能部品は、製造打ち切り後5年間を目安に当社では保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、期間後であっても修理可能な場合もありますので、お買い上げの販売店、またはオリンパス岡谷修理センターにお問い合わせください。
・本製品の故障に起因する付随的損害(撮影に要した諸費用、および撮影により得られる利益の喪失等)については補償いたしかねます。

26. オリンパスカメラクラブのご案内

オリンパスカメラクラブは、オリンパスカメラおよびレンズ愛用者の組織です。
オリンパスカメラクラブに入会しますと
1. 会報誌オリンパスフォトグラフィをお届けします。
2. カメラクラブ主催の撮影会、写真教室などに参加できます。またオリンパスが実施する催物に優先的に参加できます。
3. オリンパスフォトグラフィの誌上コンテスト等、作品を寄稿し発表することができます。
4. 作品通信指導などを受けることができます。
5. カメラクラブの支部活動に参加することができます。
6. ご愛用カメラ・レンズの修理料金が特別割引になります。
　(ただし、オリンパス岡谷修理センターにカメラをお持ちいただくか、送付(送料本人負担)いただいた場合のみ有効です。)

オリンパスカメラクラブに入会するには、オリンパスカメラおよびレンズご愛用者はどなたでも入会することができます。入会のお申込みは、カメラクラブ専用申込票(預金口座振替書)をご利用ください。また、郵便振込(振替口座番号 東京00160-9-18574 ズイコーニューズ編集室宛)もご利用できます。お申込みは常時受付けております。

入会金(申込金、新入会時のみ) ………… 800円
会費(購読費) 1年分 ………… 4,200円
計5,000円

オリンパスカメラクラブの所在地(日曜・祝日および年末年始定休)
オリンパスカメラクラブ／ズイコーニューズ編集室
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1丁目3番1号　小川町三井ビル
電話 03(3292)1933 営業時間 10：00〜18：00
2003年7月1日現在

27. 主な仕様

項目	仕様
形式	38mm〜70mm ズームレンズ内蔵35mm全自動オートフォーカス式レンズシャッター
使用フィルム	35mmフィルム(JIS J135パトローネ) リバーサルフィルムはご使用できません。
画面サイズ	24mm×36mm
レンズ	オリンパスレンズ38mm〜70mm F4.5〜F8.5 4群5枚
シャッター	プログラム電子シャッター
ファインダー	実像式ズームファインダー(オートフォーカスマーク、近距離補正マーク)
ピント調節	アクティブ方式オートフォーカス　フォーカスロック可能　近距離警告時レリーズロック ピント調節範囲：0.8m〜∞(ISO 800ネガカラーフィルム使用時は1m〜∞)
露出調整	プログラム式電子シャッターによる自動露出調整 自動露出調整範囲 WIDE：EV3.3(F4.5・2秒)〜EV16.0(F10.4・1／610秒) TELE：EV5.2(F8.5・2秒)〜EV16.8(F15.6・1／474秒)
コマ数計	順算式自動復元　LCD表示
セルフタイマー	電子セルフタイマー　約12秒
フィルム感度	DXコード自動設定 ISO100、200、400、800 DXコードのないフィルムは、ISO 100にセット
フィルム装填	オートローディング式(自動空送り機能付)
フィルム巻き上げ	自動巻き上げ方式
フィルム巻き戻し	自動巻き戻し方式(フィルム巻き上げエンド検出による自動巻き戻し、途中巻き戻しボタンによる強制巻き戻し可能、フィルム巻き戻し終了検出による自動停止)
フラッシュ	ビルトインフラッシュ　充電時間約0.5秒〜5秒(常温時、新品電池使用) フラッシュ撮影範囲 WIDE：0.8m〜3.1m(ISO100ネガカラー) TELE：0.8m〜1.7m(ISO100ネガカラー) WIDE：0.8m〜6.2m(ISO400ネガカラー) TELE：0.8m〜3.4m(ISO400ネガカラー) WIDE：1m〜8.8m(ISO800ネガカラー) TELE：1m〜4.8m(ISO800ネガカラー)
フラッシュモード	オート発光 ◉(赤目軽減発光、他はオート発光と同じ) (発光停止、シャッタースピード最長2秒) ϟ(強制発光) (夜景、シャッタースピード最長2秒) ◉(赤目軽減夜景、シャッタースピード最長2秒)
バッテリーチェック	液晶パネルによる表示
電源	リチウム単セル(CR123AまたはDL123A)1本(交換可能)
大きさ	幅118mm×高さ64mm×厚さ51mm
質量	220g(電池別)

■クォーツデートの主な仕様

項目	仕様
データ写し込み方法	フィルム裏面より写し込み
写し込みデータの種類	①年月日　②日時分 ③写し込みなし　④月日年　⑤日月年
写し込みデータの外部表示	液晶パネルに常時表示
自動カレンダー機能	2049年まで自動修正
フィルム種類別セット	自動設定
電源	カメラ本体と共用

外観・仕様は改善のため予告なく変更することがありますので、予めご了承ください。